

預金・積金について

昨年度に引き続き、コロナ禍における地域事業者の支援策として、売上げ減少等経営に苦慮している天草の産品を製造・販売する業者から、天草の特産品を購入し、抽選でプレゼントする地域応援キャンペーンを実施することで、地域貢献とあわせて預金増強に努めました。

また、コロナ禍による消費の低迷や各種給付金や補助金等の滞留により流動性預金が増加したことから、期末の預金・積金残高は1,442億87百万円で前年度から34億90百万円増加(増加率2.4%)致しました。

当金庫は、今後も、地域のお客様の明るく豊かな生活や将来の資産形成をサポートするため、リスクの少ない安全確実な定期預金や定期積金等の預積商品を中心に、サービスのご提供に努めてまいります。

また、年金振込及び予約のご指定をいただけますよう、年金倶楽部「ふれあい会」の活動についてもさらに充実させてまいります。



貸出金について

事業性資金については、コロナ禍による地域事業所の資金繰り支援やアパート等設備資金を積極的に対応しましたが、既往貸出金の返済が順調に進んだこともあり、減少致しました。なお、個人向け貸出金については、住宅ローンの需要やマイカー購入など職域サポートローンが堅調に推移したことにより増加しております。

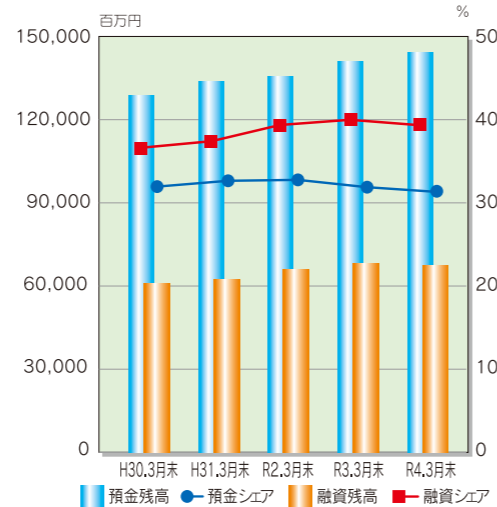
その結果、貸出金の期末残高は673億31百万円となり、前年度から5億42百万円減少(減少率0.8%)致しました。

当金庫の最大の地域貢献策は、「地元で資金を必要とする会員をはじめお客様へ安定的・持続的に資金供給すること」と認識しており、地元で唯一本店を置く協同組織の地域金融機関として、ある程度のリスクも取込みながら、積極的に地域の資金需要に対応しております。また、この取組みは、当金庫の徹底した地元優先の運営を行なう資金の確保や協同組織金融機関として求められる適正利益の安定的確保という課題克服のためにも最も重要な経営活動と位置付けております。

当金庫では、今後も、地域の課題解決と持続的発展をめざして、地元で資金を必要とされる事業所・企業や個人のお客様へ積極的に融資してまいります。

預金残高、融資残高と天草地域内金融機関における預金シェア、融資シェアの推移について

区分	平成30年3月末	平成31年3月末	令和2年3月末	令和3年3月末	令和4年3月末
預金残高	128,749	133,645	135,349	140,797	144,287
預金シェア	31.80%	32.50%	32.61%	31.73%	31.24%
融資残高	60,960	62,258	65,721	67,874	67,331
融資シェア	36.48%	37.33%	39.21%	39.92%	39.31%



※ 預金シェア、融資シェアについて
天草地域内金融機関＝地方銀行・第2地方銀行・信用組合・労働金庫・天草信用金庫の令和4年3月末の預金残高の合計は、461,894百万円、融資残高の合計は、171,269百万円です。

自己資本比率について

自己資本比率は**17.92%**で、健全性・安全性とも高い水準を維持しています。

自己資本比率は、金融機関の健全性・安全性を示す基本的な指標で、信用金庫の場合は4.0%(国内基準)以上であることが求められております。

令和4年3月末の自己資本額は、前年度末から1億34百万円増加し121億58百万円となりました。

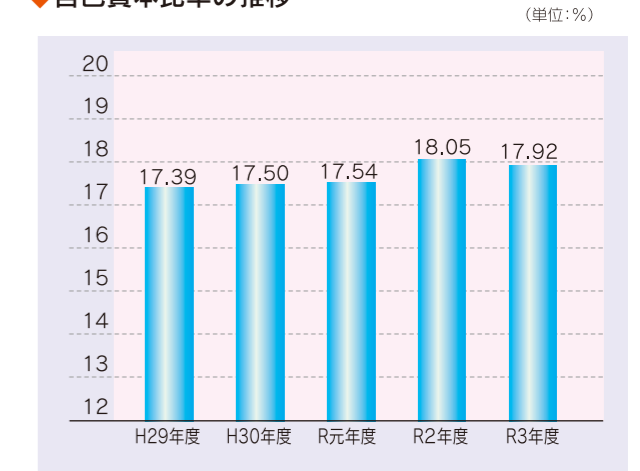
また、自己資本比率は、17.92%と前年度末から0.13ポイント低下したものの、国内基準の4.4倍にあたり、依然として健全性・安全性とも高い水準を維持しております。

当金庫の自己資本比率が高い水準を維持しているのは、每期適正利益を確保し、自己資本を高めていかなければならないとの認識のもと、地道に自己資本の積上げと経営の健全性・安全性・透明性の向上に取り組んできた結果によるものです。

◆自己資本額の推移



◆自己資本比率の推移



◆自己資本の充実度に関する事項

項目	令和2年度	経過措置による不算入額	令和3年度	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	11,511,419		11,831,463	
うち、出資金及び資本剰余金の額	452,773		447,394	
うち、利益剰余金の額	11,066,317		11,391,637	
うち、外部流出予定額 (△)	7,671		7,568	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	525,624		342,468	
うち、一般貸引当金コア資本算入額	525,624		342,468	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	12,037,044		12,173,932	
コア資本に係る調整項目 (2)				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	13,261		15,350	
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	13,261		15,350	
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	13,261		15,350	
自己資本				
自己資本の額 [(イ)-(ロ)] (ハ)	12,023,783		12,158,582	
リスク・アセット等 (3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	62,579,733		64,055,550	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	-		-	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	4,004,225		3,786,516	
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	66,583,958		67,842,066	
自己資本比率				
自己資本比率 [(ハ)/(ニ)]	18.05%		17.92%	

(注)自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

ご案内 自己資本比率規制(バーゼルⅢ(国内基準)第3の柱による開示)『自己資本の充実の状況について金融庁長官が別に定める事項』の詳細(定性的・定量的な開示事項)は、WEB版資料編16～21ページに記載しております。ご参照下さい。